

腔式で手術を受けられる方へ

月日	/	/	/	/	/	/
経過	入院当日（手術前日）	手術日（手術前）	手術日（手術後）	手術後 1 日目	手術2日目	手術3日目～退院
目標	・安心して手術に臨めるように準備する。	・安心して手術に臨めるように準備する。	・痛みや吐き気など苦痛が強いときは、看護師に知らせる。 ・手術後の安静を守る。	・痛みの具合をみながら看護師と一緒に歩く練習をする。 ・腸の動きと排ガスの状況を確認し、便秘が続く場合は看護師へ知らせる。	・徐々に日常動作の範囲を広げることができる。	・尿管カテーテルを抜いた後の排尿状況を知らせる。 ・退院後の生活について理解する。 ・退院に向けて不安なことは医師または看護師に相談する。
点滴		・手術室で点滴をします。	・点滴があります。			
薬	・常用薬を確認します。 ・血をさらさらにする薬がないか確認します。 ・常用薬継続については指示に従ってください。 ・下剤を内服します。	□常用薬は飲まないでください。 □（　　）に（　　　　　）を少量の水でお飲みください。	・必要に応じて痛み止めの薬を使用できますので、ご相談ください。 ・背中から痛み止めの管が入ってくる場合があります。	・常用薬再開については指示に従ってください。	・背中痛み止めの管を抜きます。	
検査				・血液検査があります。		・必要に応じて血液検査があります。
処置	・感染予防のために必要な範囲の除毛をします。 ・残尿測定を行います。	・呼び出しがありましたら手術着に着替えて、弾性ストッキングをはいてください。 ・下着（パンツ・ショーツ等）は着用できます。 ＊生理中の方は看護師にお伝えください。	・フットポンプ・酸素吸入を開始します。	・身体の状態に応じてフットポンプ・酸素吸入を終了します。 ・腔内のガーゼを抜きます。		・尿道カテーテルが抜けた後に、残尿測定を行います。 ・医師の診察があります。
活動 安静度	・制限はありません。 ・手術に備えてゆっくりお休みください。	・制限はありませんが、安静にお過ごしください。 ・手術室に行きます。 □ベッド □車椅子 □歩行	・ベッド上安静です。 ・寝返りはできます。	・身体の状態に応じて歩行可能となります。最初の歩行時は必ず看護師が付き添います。 ・歩行後は制限はありません。		
水分	・24 時まで水またはお茶のみ飲むことができます。	□飲水はできません。 □（　　）時までに経口補水液（OS-1）を（　　）本飲んでください。		・飲水が開始になります。初回の飲水は看護師が付き添います。		
食事	・食事療法およびアレルギーの有無を確認します。 ・21 時以降、食事はできません。	・食事はできません。 		・昼から5分粥食、夕から全粥食を開始します。	・朝から常食を開始します。	
清潔	・除毛確認後にシャワー浴ができます。	・シャワー浴はできません。 ・朝の洗面・歯磨きをしてください。	・を拭くための温かいタオルをお持ちします。	・必要に応じて身体を拭くための温かいタオルをお持ちします。 ・必要に応じてパジャマへの着替えをお手伝いします。	・主治医の許可があればシャワー浴ができます。	
排泄		・排便の有無を確認します。 ・浣腸をします。 ・呼び出しがありましたら、トイレを済ませてください。	・尿道カテーテルが入ります。 	・身体の状態に応じて尿道カテーテルを抜きます。		・腔壁形成術をした場合は手術後 4～7 日目に尿道カテーテルを抜きます。 ・尿道カテーテルを抜いた後の排尿状況を確認しますのでお知らせください。
説明 生活指導	・本人確認のためのリストバンドをつけます。 ・入院生活について説明をします。 ・必要時、医師から手術について説明します。 ・手術に関する同意書を確認します。 ・手術に必要な物品の確認をします。 ＊売店でご購入ください。 D セット（オムツ・パッド）：1 セット ・入院中の顔色や爪色の観察のため、化粧やネイルカラー・ネイルアートは落としてください。 ・手術後に使用するコップ、ストロー、寝衣、下着、ナプキンの確認をします。	・手術に向かう際には「手術を安全に受けていただくために 装飾品などの注意点について」に沿って確認します。 ・手術後に備え、手術前にベッド上の私物や貴重品は片付けてください。	・ご家族の方は（□病棟ラウンジ □病室 □院内）でお待ちください。 ・全身状態の観察のため頻回に伺います。			・退院後の生活の注意点を（別紙）説明します。 ・次回外来日について説明します。 ・退院後も腹圧のかかる動作は避けましょう。

※治療・経過・入院期間については、現時点で考えられるものであり、今後検査・治療経過によって変更になる場合があります。